

【大阪】近畿交通経済協同組合（坂本克己理事長）は11日、臨時総代会を開き、15年ぶりとる基本掛け金の見直しを含む自動車共済規程の一部改定を承認した。対人共済の基本掛け金を10%引き上げると、優良割引・割増の割引率は上限を60%から55%アップの70%に拡大した。（小泉史和）

15年ぶり改定

全車両一括契約割引率を引き下げた。一方、危険物を積載する車両に適用していた割増掛け金は廃止。優良割引率増加減表を4区分から17区分へと細分化するとともに補償率も見直し、台数規模による不均衡の是正を図った。優良割引率の拡大は2016年4月、他は15年4月から適用する。



収支改善を進め、一層堅石な体制の構築を目指す

用料引き下げ 企画策定へ意見聴取

奈ト協

事が適正運賃収受の課題を提起。旅客と貨物の運賃規制における格差を挙げ、規制強化の必要性を訴えた。執行部では、要望運動の経緯と進展を踏まえて対処する

防止にも熱心に取り組んだ結果、事故が減少。優良割引を受ける組合員が増加したことも、収入の伸び悩みを相重を挙げた。更に、補償の高額化で、13年度は31年ぶりに赤字決算となった。14年4-9月期決算も、収入136億140万円、支出140億932万円、4億792万円の赤字を計上。収支の改善に向け、

セイコー運輸

移動写真真館が「特別賞」

CB・CBS アワード 地域社会に貢献



表彰状を持つ宮高専務

【大阪】セイコー運輸（宮高専務、大阪市住吉区）の手掛ける移動写真真館サービス「フォトまひる」が11月、NPO（特定非営利活動）法人主催のコミュニティ・ビジネス（CB）と市民社会組織（CSO）を表彰する「CB・CBSアワード2014」で、優秀委員特別賞を受賞した。近畿2府4県と福井県を拠点に活動している企業、団体、個人などを対象に、募集し、①公益性②事業性③継続性④波及効果―の観点から選考した。

セイコー運輸では、「介護業界と葬儀業界を巻き込んだ「徳（し）の心」の創造と展開」を目指し、トラックを改造した移動写真館で高齢者の入居施設や通所施設を訪問。その場で撮影した写真や動画を家族と共有し、高齢者の子供や孫の「徳（し）の心」を育むとともに、健やかな地域社会の実現に貢献しようと取り組んでいる。

宮高専務は12月11日、取材に対して「これからの高齢社会に求められるサービスを、地域社会で提供し続けられるよう、引き続き頑張っていきたい」と話した。（上田理子）

奈運支局／Gマーク
サカイ奈良支社を表彰
デジタコ・DR装着9割

の安全や社会に貢献しているサカイ引越センター奈良支社（村井篤志支社長、奈良県大和郡山市）の功績をたたえ、安全性優良事業所として表彰した。表彰は今年度から実施。

枚方市

大阪ト協
東北支部

【大阪】大阪府トラ協会の東北支部（中原部長）は13日、役員会を招き、2015年1月16日、2015年1月16日、役員会が実施する災害本部訓練にトラックをすることを決めた。同市とは5月に「災害における物資の自動車に関する協定書」を締結し、市内や近隣市町で大規模な災害発生が予想される場合に、市の要



「新しい年も明るいちで前向きに」と中原部長